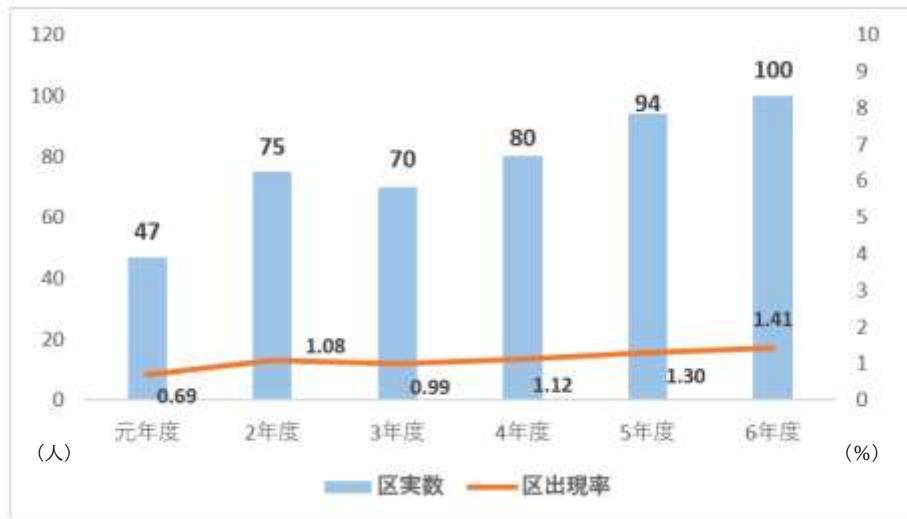


令和6年度 不登校児童・生徒数について

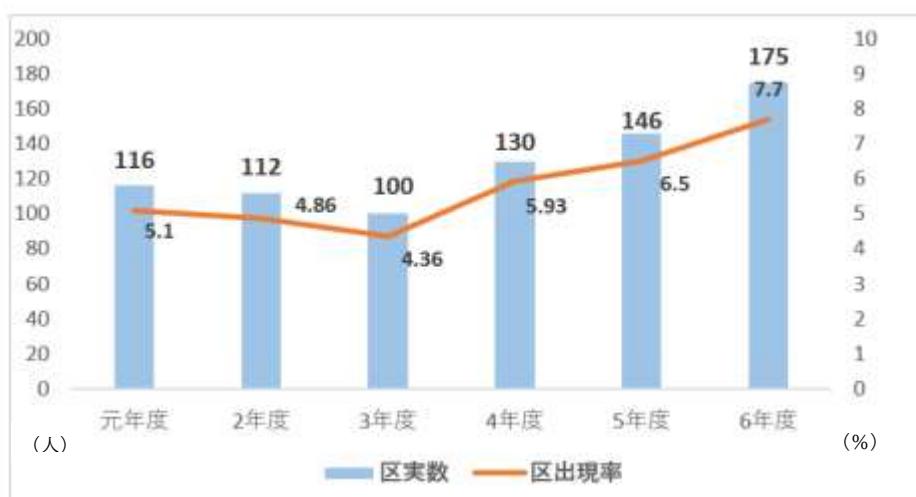
1 不登校児童・生徒数の集計結果

	小学校				中学校				
	実数 (人)	出現率(%)			実数 (人)	出現率(%)			
		区	都			区	都		
6年度	100	1.41	2.22	2.30	6年度	175	7.70	7.68	6.80
5年度	94	1.30	2.21	2.14	5年度	146	6.50	7.80	6.71
4年度	80	1.12	1.78	1.70	4年度	130	5.93	6.85	6.00
3年度	70	0.99	1.29	1.30	3年度	100	4.36	4.79	5.00
2年度	75	1.08	1.06	1.00	2年度	112	4.86	4.93	4.09
元年度	47	0.69	0.88	0.83	元年度	116	5.10	4.76	3.94

2 小学校における不登校児童数及び出現率の推移



3 中学校における不登校児童数及び出現率の推移



4 考 察

本区の不登校者数は、小学校100名、中学校175名となり、不登校の児童生徒は増加傾向にある。小学校の不登校出現率は、国や都よりも低い値ではあるものの、昨年度比0.11%増。中学校の不登校出現率は、国や都よりも高い値となり、昨年度比1.2%増となった。この結果からも、学校を取り巻く環境が厳しさを増しており、子供たち一人一人が、自らの生き方を主体的に考え、社会の一員として自立できるよう、様々な状況に対応した居場所づくり、教育環境の整備が求められている。

5 今後の対策

台東区不登校対策ガイドラインを基に、学校や家庭、関係機関（スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等の専門職、あしたば学級、教育相談室）等との緊密な連携を図る。また、令和7年度より「校内教育支援センター ほっとステーション（全校）」、「不登校対応校内分教室チャレンジクラス（上野中学校）」の設置や不登校巡回指導教員の派遣等、不登校対策を実施している。

今後も、不登校の未然防止、早期対応、長期化した場合の対応等、学校と教育委員会が連携し、各取組の充実も含め不登校が生じにくい魅力ある学校づくりを推進していく。

【参考】

令和6年度台東区児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査概要

- 1 趣 旨 児童生徒の問題行動等について、状況を調査・分析することにより、教育現場における生徒指導上の取組のより一層の充実に資するとともに、実態把握を行うことにより、児童生徒の問題行動等の未然防止、早期発見・組織的対応につなげていくものとする。
- 2 対象学年 小学校第1学年～中学校第3学年
- 3 実施期間 令和6年4月～令和7年3月
- 4 調査内容 不登校の児童・生徒数等
- 5 不登校の定義 何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいは登校したくともできない状況にある者。
(ただし、「病気」や「経済的理由」による者を除く。)
※文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」より